

コートジボワール月報(2017年11月)

主な出来事

【内政】

- 11月3日, ウワタラ大統領は大統領官邸でソロ国民議会議長と会談した。
- 11月25日, ウワタラ大統領はフランス24のインタビューを受け, 2020年大統領選挙等につき意見を述べた。

【外政】

- 11月14日, ウワタラ大統領は, アビジャンで佐藤外務副大臣の表敬を受け, 二国間関係強化及び開発協力案件の確認等を行った。
- 11月17日, ウワタラ大統領はジンバブエ情勢に関し, ムガベ大統領が威厳をもって大統領職を退けるようにするべきであると述べた。
- 11月18日, コートジボワール政府は, リビアでサブサハラ・アフリカの移民が奴隷のように競売にかけられていることに関し, 人権, 個人の自由及び尊厳の重大な侵害である旨のコミュニケを発出した。
- 11月20日, ウワタラ大統領は, アビジャンでニヤシンベ・トーゴ大統領兼ECOWAS議長の表敬を受け, 次期ECOWASサミットで議論される予定の問題及びサヘルの治安情勢につき協議した。
- 11月27日, ウワタラ大統領は, アビジャンでモハメッド6世(モロッコ国王)の表敬を受け, 二国間協力強化に関する意見交換等を行った。
- 11月29-30日, アビジャンでAU-EUサミットが開催され, リビアの移民危機及び欧州・アフリカのパートナーシップに関する宣言が採択されるとともに, 4つのプライオリティー(教育と職業訓練, 平和と安全, 移民と機動性, 投資)も採択された。

【経済】

- 11月2日, ウワタラ大統領は中国が融資したスブレ(南西部)の水力発電ダムの竣工式及び同じくササンドラ川流域のGribo-Popoli水力発電ダム建設の起工式を執り行った。
- 11月2日, 世銀から10月31日に発表されたDoing Business報告書で, コートジボワールは53.71ポイントで139位に順位づけられたことが報じられた(前回:51.61ポイント, 142位)。
- 11月7日, ワシントンDCの米国務省でウワタラ大統領出席の下, コネ経済・財務大臣と米Millenium Challenge Corporation総局長との間で, コートジボワールへの3, 150億CFAフラン(約630億円)の贈与協定が締結された。
- 11月8日, アフリカ開発銀行グループ理事会は, 航空会社エア・コートジボワール支援のため, 9, 806万ユーロの融資を承認した。
- 11月28日, Nookeメルケル首相アフリカ問題個人代表とコネ経済・財務大臣との間でアフリカにおける持続可能な民間投資を促進することをねらいとする”Compact for Africa”(計1億ユーロ)が締結された。

1 内政

- 11月3日, ウワタラ大統領は大統領官邸でソロ国民議会議長と約1時間にわたって会談を行った(ランテール紙, ノール・スッド・コティディアン紙, ル・パトリオット紙, ノートル・ヴォア紙)。
- 11月20日, RDRは副党首33名のリストを発表した。ソロ国民議会議長はチヨロゴ(Tchologo)州担当副党首に任命された(ランテール紙)。
- 11月25日, ウワタラ大統領はフランス24のインタビューを受け, 2020年大統領選挙等につき意見を述べた(ランテール紙, ヌーボー・レベイユ紙, ル・パトリオット紙, ノール・スッド・コティディアン紙, フラテルニテ・マタン紙)。

2 外政

- 11月10日, ウワタラ大統領はティエバ・ブルキナファソ首相の表敬を受けた(フラテルニテ・マタン紙, ル・パトリオット紙, ヌーボー・レベイユ紙)。
- 11月10日, ウワタラ大統領は, Juan Antonio Bibang Nchichuma 赤道ギニア大統領府付国防担当副大臣の表敬を受けた。同副大臣は, ウワタラ大統領にAU-EUサミットへのテオドロ・オビアン・ンゲマ・ンバゾゴ大統領の出席を伝えた(フラテルニテ・マタン紙, ル・パトリオット紙, ヌーボー・レベイユ紙)。
- 11月13日, ウワタラ大統領はアビジャンで Kassory Fofana ギニア大統領府民間投資担当顧問の表敬を受けた。同顧問は, ウワタラ大統領ととりわけ国立技術開発研究局(BNETD)及び大規模計画・公契約行政管理局(ACGPMP)との協力を通じた二国間協力の強化につき協議した(フラテルニテ・マタン紙)。
- 11月14日, ウワタラ大統領は, アビジャンで佐藤外務副大臣の表敬を受けた。同副大臣によると, コートジボワール訪問の目的は二国間関係強化及び開発協力案件の確認である由(ヌーボー・レベイユ紙, ル・パトリオット紙, ノール・スッド・コティディアン紙, ソワール・インフォ紙)。
- 11月17日, ウワタラ大統領は第4回農業・動物資源国際見本市(SARA)2017の開会式に出席した際, ジンバブエ情勢に関し, ムガベ大統領が威厳をもって大統領職を退けるようにすべきであると述べた(フラテルニテ・マタン紙, ランテール紙)。
- 11月18日, コートジボワール政府は, リビアでサブサハラ・アフリカの移民が奴隷のように競売にかけていることに関し, 人権, 個人の自由及び尊厳の重大な侵害である旨のコミュニケを発出した(ノートル・ヴォア紙)。
- 11月20日, ウワタラ大統領は, アビジャンでニヤシンベ・トーゴ大統領兼ECOWAS議長の表敬を受け, とりわけECOWAS加盟国の拡大といった次期ECOWASサミットで議論される予定の問題及びサヘルの治安情勢につき協議した(フラテルニテ・マタン紙, ヌーボー・レベイユ紙, ル・パトリオット紙, ノール・スッド・コティディアン紙, ランテール紙)。
- 11月27日, ウワタラ大統領は, アビジャンでモロッコ国王であるモハメッド6世の表敬を受け, 二国間協力強化に関する意見交換を行った。その後, ウワタラ大統領とモハメッド6世は, モロッコが大部分支援したアテクベ・コミュニンの船着き場及びヨプゴンの職業訓練センターの落成式を

行った(フラテルニテ・マタン紙, ランテール紙, ヌーボー・レベユ紙, ル・パトリオット紙)。

●11月27日, ウワタラ大統領はファキAU委員長, Abdallah Boureima 西アフリカ経済通貨同盟 (UEMOA)代表, エムバロ・ギニアビサウ首相と夫々会談した(フラテルニテ・マタン紙, ヌーボー・レベユ紙, ランテール紙, ル・パトリオット紙)。

●11月29日, ウワタラ大統領はアビジャンで「持続的な未来のための若者への投資」をテーマとするAU-EUサミットの開会式を行った。(フラテルニテ・マタン紙, ヌーボー・レベユ紙, ル・パトリオット紙, ランテール紙)。

●11月30日, AU-EUサミットが閉会し, リビアの移民危機及び欧州・アフリカのパートナーシップに関する宣言が採択されるとともに, 4つのプライオリティー(教育と職業訓練, 平和と安全, 移民と機動性, 投資)も採択された(フラテルニテ・マタン紙, ランテール紙, ノール・スッド・コティディアン紙, ル・パトリオット紙)。

3 経済

●11月2日, ウワタラ大統領は中国が融資したスブレ(南西部)の水力発電ダムの竣工式を行った。国内最大級の発電容量275メガワットを有し, 総工費は3, 310億CFAフラン(約660億円)。また同日, ウワタラ大統領はスブレダム下流6kmのササンドラ川流域に位置する Gribo-Popoli 水力発電所整備計画の起工式も執り行った。発電容量は112メガワット, 総工費1, 530億CFAフラン(約306億円), 工期40か月が見込まれる(ヌーボー・レベユ紙, フラテルニテ・マタン紙, ノートルヴォワ紙, ランテール紙, ル・パトリオット紙)。

●11月2日, 世銀から10月31日に発表された Doing Business 報告書で, コートジボワールは53.71ポイントで139位に順位づけられたことが報じられた。前回の51.61ポイント142位から改善されたのは, 建築許可取得に係る改革が主因(フラテルニテ・マタン紙, ノートルヴォワ紙)。

●11月3日, 2017-18年期の綿のキロ当たり買取価格を1級品265CFAフラン(約53円), 2級品240CFAフラン(約48円)とすることが閣議決定された。2016-17年期において, コートジボワールはアフリカ第4位の生産国となった(フラテルニテ・マタン紙, ヌーボー・レベユ紙, ノール・スッド・コティディアン紙, ル・パトリオット紙)。

●11月6日, 国家開発計画2016-2020(PND2)運営委員会によるPND2の進捗状況レビューが報じられた。5カ年計画の初年度にあたる2016年時点で, 同年に開催された援助国会合でコミットされた資金の内38%に相当する金額が既に執行されている(フラテルニテ・マタン紙, ヌーボー・レベユ紙, ル・パトリオット紙)。

●11月7日, ワシントンDCの米国務省で, コネ経済・財務大臣と Nash 米 Millenium Challenge Corporation(MCC)総局長は, MCCコンパクトプログラムとしてコートジボワールへの3, 150億CFAフラン(約630億円)の贈与協定に署名した。調印式にはウワタラ大統領も出席した。同資金は教育(中学校建設64件, 職業訓練所4件), 交通(都市道路建設4件, アビジャン港の道路の改修)等の分野に活用され, コートジボワールの経済成長を支援する(フラテルニテ・マタン紙, ランテール紙, ヌーボー・レベユ紙, ル・パトリオット紙)。

- 11月8日、アフリカ開発銀行グループ理事会は、航空会社エア・コートジボワール支援のため、9,806万ユーロの融資を承認した。これと合わせ、同社は計2億5,300万ユーロの資金調達を実現することになる(フラテルニテ・マタン紙,ランテール紙,ヌーボー・レベイユ紙)。
- 11月11日、ゴン＝クリバリ首相は、カティオラ(中部)にて、ブアケ(中部)とフェルケセドゥグ(北部)を結ぶ道路220kmの改修工事の起工式を行った。ブルキナファソ・マリ等周辺国をつなぐ主要道路の一部。仏債務免除・開発契約(C2D)によって1,470億CFAフラン(約294億円)が調達され、工期は24カ月となる予定(フラテルニテ・マタン紙,ル・パトリオット紙,ヌーボー・レベイユ紙,ランテール紙)。
- 11月17日－24日、SARA 2017が開催され、ウワタラ大統領が開会式を執り行った。大統領は式典スピーチにて、カカオ価格変動対策として、世銀及びアフリカ開発銀行との協力による国産カカオの備蓄計画に言及した。また、期間中に、農業投資国家計画(PNIA)Ⅱの枠組みで1兆6,656億CFAフラン(約3,331億円)(内4,000億CFAフラン,約800億円は政府資金)の資金動員の見通しが確認された(フラテルニテ・マタン紙,ランテール氏,ヌーボー・レベイユ紙,ル・パトリオット紙)。
- 11月20日、モロッコの Ciment d' Afrique (CIMAF) 社のセメント工場(年間生産能力100万トン)がサン・ペドロ(南西部)で操業開始した。工費は350億CFAフラン(約70億円)であった。アビジャン・ヨブゴン工業地帯で2013年に開設した工場(同100万トン)に次いで2件目となる。今後、ブアケ(中部)にも工場(同50万トン)建設計画がある(フラテルニテ・マタン紙,ランテール紙)。
- 11月28日、Nooke メルケル首相アフリカ問題個人代表とコネ経済・財務大臣は、アフリカにおける持続可能な民間投資を促進することをねらいとする”Compact for Africa”に署名した。計1億ユーロ(内訳:贈与1,500万ユーロ,譲許的融資8,500万ユーロ)で、再生可能エネルギー分野等を支援する(ル・パトリオット紙,ランテール紙,ヌーボー・レベイユ紙)。
- 11月30日、ウワタラ大統領とマクロン仏大統領は、トレッシュビル地区でアビジャン・メトロの起工式を執り行った。工費14億ユーロで、Anyama(北部)～Port-Bouet(南部)両コミューン間37kmを結び、20駅を設置する。工事は Bouygues Travaux Publics 社等が実施する。また Le Drian 仏外相はC2Dに関連して、ゴン＝クリバリ首相と複数プロジェクトの予算見直し案、コネ経済・財務大臣とカカオ価格下落に関連する措置として656億CFAフラン(約131億円)の財政支援について、計2件の署名を行った(フラテルニテ・マタン紙,ランテール紙,ノール・スッド・コティディアン紙,ル・パトリオット紙)。
- 11月30日、コネ経済・財務大臣とFayolle 欧州投資銀行(EIB)副総裁は、アビジャンの飲料水供給改善のため230億CFAフラン(約46億円)の融資協定に署名した(フラテルニテ・マタン紙,ランテール紙)。